

SSIOJ 7月からの活動方針について

政府の判断により県をまたぐ移動が解禁となりましたが、コロナの感染リスクがなくなったわけではありません。日本ではピークは過ぎたと思われませんが日々刻々と変化しており油断はできません。また、海外では感染者が増加中です。日本人の新型コロナウイルスの抗体保有者が極めて少なく第二第三の波が来るのはほぼ間違いがないといわれています。ここで緩めてしまうのはリスクがありますので、安全を最優先に考え、新規感染者がほぼいなくなるまで自粛の継続をもう少しお願いしたいと思います。

しかしそれがいつまで続くかは分かりません。

そこで SSIOJ としては全国一律に自粛の継続をお願いするのではなく、「自粛の継続をお願いする地域」と「地域コーディネーターと CG の世話人の判断に委ねる地域」に分けたいと思います。具体的には以下の通りです。

「自粛継続をお願いする地域」→当面 7 月いっぱいとしします。

関東地域（東京、千葉、埼玉、川崎、多摩、横浜）、関西地域（神戸、大阪、京都、奈良）、北海道地域（札幌、帯広）、中部地域（名古屋）、九州地域（福岡、北九州）

「地域コーディネーターと CG の世話人の判断に委ねる地域」

盛岡、宮城、新潟、群馬、浜松、金沢、広島、香川、鹿児島、沖縄

ただしこれらの地域であっても、再開するかどうかは各 CG の世話人と地域コーディネーターの判断によります。

また、再開する場合は以下の再開のガイドラインを守っていただくことが前提になります。なお、再開される場合は事務局にその旨ご一報いただけますようお願いいたします。

再開のガイドライン

- ①活定例動は月 2 回までとする(2 週は空ける)
- ②少人数で実施(会場の広さに合わせて、各人の距離が 2 メートルは確保できる人数以内で)
参加する人は毎回、事前にローテーションにより決めておく。(不公平がないように)
できれば、他の人は ZOOM などオンラインで自宅から参加できるように工夫する
- ③感染予防対策の実施(すべて担当を決めること)
・参加者はマスクを着用し、無駄な話はしない

- ・トイレや床のアルコール消毒
- ・会場のドアを開ける際、ドアハンドルのアルコール消毒
- ・会場内＝ドアの内側にアルコール消毒設置
- ・会場内四角のヴィブーティお清め&ガーヤトリーマントラ
- ・祭壇物品搬入時、セットアップ時の手袋&マスク装着(関係者全員、手袋は個人管理)
- ・入室ノートはつけない→担当者が入室者を記録する
- ・マイクは使用しない

④飛沫感染対策(すべて担当者を決めること)

- ・プログラム開始前 換気最低5分
- ・ヴェーダ終了時 換気最低5分
- ・バジヤン終了時 換気最低5分
- ・ヴェーダ、バジヤン以外のプログラム時はドア、窓の開放
- ・リード、コーラスともマスクかできればフェースガードを着用

⑤活動時間は最長 2 時間までとする

搬入&祭壇準備(20~30分) 後片付けを(15分~20分)合計 45分~50分が必要ですので、実際のプログラムは75分ぐらいになります。その時間内でヴェーダ、バジヤン、スタディサークル、瞑想などを地域コーディネーターと世話人が計画してください。

⑥その他

- ・体調不良の人は参加不可とする
- ・会場での飲食の禁止

⑦ナラヤナセヴァの場合

- ・感染予防対策(マスク、ビニール手袋、レインコート、フェースガードなど、アルコールなど)
- ・セヴァダルの健康チェック(自主判断)
- ・最少人数で行うこと。
- ・現場での給仕等は避けて、事前パッキングなどで
- ・手渡しではなく、各自で取ってもらう方法
- ・ナラヤナさんに待機や密状態を作らないために、セヴァ時間に幅を持たせる
(ナラヤナさんより早めに現地に行き、来た人からお渡しする方法)